

追加資料 2

◇委員からの意見等及び回答

No 取組項目	委員からの意見等	回 答
7 高齢者の地域ケア会議の運営	地域ケア個別会議、地域包括支援センター会議、地域ケア推進会議と3ヶ所の合計で昨年度より10回程度増えたが、評価として変わらない原因は。	昨年度は権利擁護型の案件がなく会議を開催しなかったため、令和3年度と同様の評価とした。(全メニューの会議開催を目標としている)
9 地域福祉にかかる担当職員の配置	令和4年度実績「福祉事務所内専門職等配置数」が19人となっていて増えている。市職員を地区担当職員として配置していないのか。	福祉事務所の中で、社会福祉課の生活保護担当職員、家庭児童相談室の職員は地区担当制により支援している。
11 各種ボランティア養成講座の開催	講座回数が増えることは参加者が参加できる機会が増えて良いが、講座に参加している人数はそれに伴い増加しているのか。	講座回数増加により参加人数も増加している。 次年度からは参加人数も報告します。 令和2年度：2回開催、14人参加 令和3年度：25回開催、40人参加 令和4年度：28回開催、82人参加
17 生活支援体制整備事業の委託	社会福祉協議会へ生活支援コーディネーターを4人配置しているが、No9の19人の中から配置しているのか。	No17の生活支援コーディネーターは、社会福祉協議会の職員です。
39 生活困窮者の複合的な課題を包括的に対応する窓口の設置	LINE相談は良いと思います。 「くらしと仕事のサポートセンター」パンフレットをポスターにしてはどうか。	御意見として承ります。
その他	会議の組織形態がよくわからない。 ①まちづくり協議会 ②地域ぐるみネットワーク会議 ③第1層協議体 ④重層的支援会議	別紙追加資料3 参照
その他	子どもの福祉に関してはもっと学校との連携を強めた方が良い。先生方は毎日の生活の中で気づきがあるはずです。	御意見として承り、市校長会代表の委員と相談しながら進めていきます。